

地名を歩く

四十二 布瀬



「隠地」から「中布瀬」「八幡」方面を見る。右手前の山は「丸山」

備中町「布瀬」は、吉備高原を開析した成羽川がV字谷となり、穿入蛇行して流れるところに、南西から布瀬川が成羽川に合流している場所に位置しています。布瀬川の出口には一〇〇メートル以上の高さの丸山と呼ばれる小さな山があります。この山は成羽川の差別浸食によって分離された山（ケルンコル）で、分離丘陵（ケルンバット）といわれています。

「布瀬」の集落は、いずれも狭隘な谷筋に位置しています。布瀬川の上流は石灰岩の奇岩の絶壁が美しい磐窟溪となっています。

中世の「布瀬」は川上郡六郷の一つ穴門郷に属していた（川上郡誌）といわれ、戦国時代に「布施」の地名が見えています。「吉備津神社文書」（岡山県古文書集）の中の「流鏑馬料足納帳」の記録に康正三年（一四五七）分

として吉備津宮へ流鏑馬費用として二百八十文ふせが直納と書かれた記録が残っています。また、「成羽八幡神社旧記」（渡辺家文書Ⅱ「前掲書」）に三村家親の頃（一六世紀中頃）当時の神主渡辺甚兵衛が摂津国（現・大阪府）より布施村に来て、古振甚兵衛と名乗って古振というところに住んでいたという記録があります。

江戸時代の「布瀬村」は上下代官所領（天領）の石高、五三四石余り、成羽山崎領一八九石余、村高合計七二三石余（備中村鑑）などとあつて、大部分が天領、一部が山崎領となっていました。「備中誌」には三三四石余、反別二七町八反余で特産物は蠟とあつて「日本最上」と記しています。近世には成羽川の高瀬舟による河川交通も盛んになり、布賀の野呂から人馬で「野呂の道」を下り「布瀬」で河

岸に出る輸送路もあった（備中町史）のです。

「布瀬村」は明治一〇年（一八七七）七瀬村の一部となり、その後再び分離して布瀬村と七地村に分かれ、明治二二年（一八八九）富家村の大字となつていきます。

「布瀬（布施）」という地名は各地にあります。①「布」には「のあいだ」「高所と高所のあいだ」「指のあいだ」などの意味や②「ふ」は「二つの略」で、「ふせ」は「二つの瀬」を表す意味もあるのです。また、③「ふす」（臥）の「倒れる」という意味から「傾斜地」を表す地形地名にも使われます。④「布施」という場合は仏教語で財を施すことをいいます。果たして、どれが正しい「布瀬」なのでしょう。か。「布瀬」の地名の由来については①②③が最もふさわしいのではないかと思われるのです。

（文・松前俊洋さん）

図書館だより 5月

高梁中央図書館

開館時間 9:00 ~ 17:00

☎ 2912



一般書 静かな爆弾

吉田修一:著
中央公論新社

テレビ局に勤める早川俊平は、ある日公園で耳の不自由な女性と出会う。取材で人の声を集める俊平と、音のない世界で暮らす彼女。やがて二人は恋に落ちるが…。

ちいさい心のへや 図書館2階 14:30から

小学校低学年までが対象で参加無料。
親子での参加も歓迎です。

10日 土	きりがみあそび「もも太郎」 おはなし会 (ボランティアグループ『おはなしたまてばこ』)
17日 土	こどもまつり (ボランティアグループ『ふきのとう』)
24日 土	きりがみあそび「でんぐりどうぶつ」
31日 土	おりがみあそび「かえる」

移動図書館

15日 木	川上児童館前 備中地域局前	14:15 ~ 15:15 15:45 ~ 16:45
20日 火	有漢生涯学習センター前 落合雇用促進住宅高梁宿舎前	14:45 ~ 15:30 16:20 ~ 16:50
23日 金	玉川地域市民センター前 落合地域市民センター前 中国電力社宅前 松原地域市民センター前	11:00 ~ 11:30 13:00 ~ 14:00 14:30 ~ 15:00 15:30 ~ 16:00
27日 火	津川地域市民センター前 高倉地域市民センター前 川面地域市民センター前	11:00 ~ 11:30 13:00 ~ 13:30 14:00 ~ 14:30
30日 金	巨瀬地域市民センター前 中井地域市民センター前 宇治地域市民センター前 落合中二公会堂前	10:30 ~ 11:00 13:00 ~ 13:30 14:30 ~ 15:00 16:00 ~ 16:30



児童書 なりたいじんじゃ

矢玉四郎:作・絵
ポプラ社

おまいりをする、なりたいものになれると言われていた「なりたい神社」。ぬいぐるみになりたいネズミや、バスになりたいカバ、高いビルになりたいサルがやってきますが…。

休館日

毎週木曜日の午後
3日(土), 4日(日), 5日(月), 6日(火), 12日(月), 18日(日), 26日(月)

成羽図書館

開館時間 9:00 ~ 17:00

☎ 42589



一般書 私の男

桜庭一樹:著
文藝春秋

優雅だが、どこかうらぶれた男。一見、おとなしそうな若い女。狂気に満ちた愛の下では善と悪の境もない。暗い北の海から逃げてきた父と娘の過去を、美しく力強い筆致でえぐりだす著者の真骨頂。

移動図書館「うぐいす号」

5月13日(火) 5月27日(火)

午前 9:00~12:00	市営星原住宅→ファミリーハウス星原→鶴鳴保育園→市営栄町住宅→妙見町堀江宅横→雇用促進住宅→黒川商店(日名地区)→枝中央地区→成美保育園
午後 13:00~16:00	老人ホーム成羽川荘→成羽・山本地区→小泉・東地区→布寄小学校→中野・迫地区→吹屋保育園→吹屋小学校→向井商店(坂本地区)→田原保育園

休館日 毎週月曜日